

「市長の執行姿勢」について

藤井 俊雄 議員

問

当市は、かつて全国的にも「福祉先進地」として、また「学校教育や生涯教育」においても素晴らしい成果を挙げてきたが、新たな「第五次総合計画」のもと、単なるものづくりだけでなく、市民力を結集し、相互に心のこもった福祉施策の実施や不登校問題などの早急な解決を願うが、市長の執行姿勢を問う。

新しい資産の形成には負債もその財源として増えてくると思うのでしっかりと見守っていきたい。②市債は増えてくるが、毎年公債費という名目で返しながら新たな借入金をしながら進めていくことになる。当然、将来世帯までお願いしていくことは絶対避けて通れないと考える。③体育館がかなり老朽化しており耐震を待つまでもなく外壁の落下などあり、避難場所でもあるので優先した。東中についても、耐震化でいいの/new築だとしても、レイアウトが可能かなど早急に結論を出して、お示しできる時期を早めたいと思う。

①当市が作成した昨年度の財務四表の貸借対照表等の数値は、同等他市と比較してどのような結果か、また見解を伺う。②市長は、市民体育館及び市営住宅の建替えを検討しており、実現には現役世代の負担が増える市債も増えるがこの件をどう捉えているか。③市民体育館改築よりも老朽化が激しい春日東中学校の校舎及び体育館等の全面改築が優先と考えるがいかがか。

答

①市民一人当たり資産二〇五万円、負債五三万円、純資産一五二万円となっているが、類似団体との比較はまだ分析しきれない状況である。

保育行政について



吉村 敦子 議員

問

少子化対策のさらなる充実に資するため、春日市は子育て支援や次世代育成に関する行動計画として、「春日市子ども子育てにこころをこめて」が作成されました。その基本施策の一つ、仕事と子育ての両立支援である

保育サービスについて、お尋ねします。

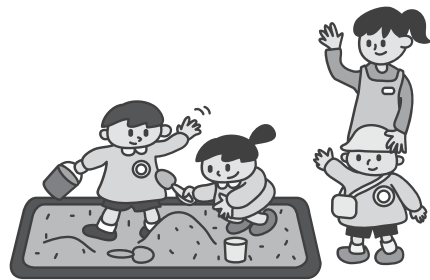
①延長保育や一時保育、病児病後児保育、休日保育などの「特別保育」の有無と利用について
②保育士による相談体制について

答

③看護師やカウンセラーなど専門職の配置について
④保育所における地域支援について
⑤待機児童の現状と待機児童対策の取り組みについて

①延長保育は一時時間延長を八ヶ所、二時間延長を三ヶ所が実施。一時保育は五ヶ所が実施。来年度からは春日原保育所も実施。病後児保育は小児科医院一ヶ所が実施。休日保育は一ヶ所が実施。他に年末保育や障害児保育事業を実施。
②関係機関と連携し、保護者や地域の子育て家庭にも対応するなど相談体制を常時整えている。
③看護師は各保育所に一名配置し、カウンセリングの専門家は配置していないが、研修等で保育士の質を高め対応。④園庭開放、子育て講座や相談の実施、子育てサロンへの参加、中学生の職場体験の受け入れなど積極的に推進。⑤昨年十月では二七

人、本年十二月は三八人と保育需要は増加し、安心子ども基金の活用を県と協議中。



会派視察報告

衆政会

十月十三日～十五日、三ヶ所の視察を行った。

一日目は、新潟県柏崎市で「健康ビジネス連邦」の会合に出席させていただき新潟県の取り組みとして行っている健康ビジネスモデル創出事業の話をお聞きしました。健康に重点を置いた、アンチエイジングの取り組みや「ものづくり部会」や「健康食品部会」など三部会での取り組みなど貴重な意見を聞かせていただきました。二日目は、同県燕市のウイ

アシストのアイデア満載福祉用具を展示・販売している青芳製作所の見学を行いました。スプーンやコップなどの日用品を障害者や高齢者が便利に使用できるように随所に工夫がされており、介護ベッドや車椅子の介護用品は利用者が気持ち良く使えるよう考えられたものであり使用させていただき驚きの感動でした。三日目は、同県阿賀野市にある身体障害者通所授産施設「ゆきの里作業所」の視察をさせていただきました。地元の大手地場産業との協力関係がしっかりできており、施設利用者の作業内容も熟練されていることがよく伝わりました。三ヶ所とも大変有意義な視察でした。



ゆうきの里作業所を視察

会派視察報告 日本共産党

十月十五日～十七日の三日間、岡山県の三市の視察を行いました。

備前市では県立青少年教育センターを訪問。一六七〇年に設立された日本でもっとも古い庶民の学校「閑谷学校」を活用した青少年の教育センターでは、年間四万人もの青少年が研修を行っているとのこと。国宝に指定されている講堂を使つての「論語教育」、参加者は、友愛・秩序・礼儀を学んで帰るそうです。日本人が忘れてしまった心を取り戻す教育がそこには根付いていました。黒光りする講堂に背筋を伸ばして「孔子」の教えに聞き入る子どもたちの瞳が輝いていて大変感動させられました。

十七日は、岡山市で地方自治体研究全国集會に参加。全国の自治体の様々な取り組み、特に合併が進むなか、山郷の暮らしを守るうと、観光や新しい名産品作りに励んでいる小さな山村の村長さんの話に励まされました。十八日は、同集會の分科会で倉敷市を訪問。江戸時代天領であ

あった町衆文化のまち、倉敷の伝統的建造物を保存するために、ボランティアで頑張っておられる人々の優しい心意気に、おおいに学ばされました。



閑谷学校を視察

会派視察報告 近未来21

「議会報告会について(名取市議会)」

「議会報告会について(名取市議会)」しるいしエコプロジェクトについて十一月三日～五日に会派行政視察を行った。春日市議会基本条例は、本会派が栗山町を視察し、研究して議案提案を行い審査の結果、平成二十一年三月に制定されたものである。第十条(広報機能の充実)の具現化のため議会活動の広報と

して、十一月十八日予定の第一回春日市議会報告会を前に先進的取組みとして視察した。名取市議会での議会報告会の経緯、実施状況、課題、成果、市民の反応等についての忌憚ない話は、前もつての情報収集として参考になった。議会は税金の使い方及び市民生活に関わる内容を議決する重要な機関なので議会活動の広報に努めるべきという思いを一層強くした。次に白石市のエコプロジェクトでは、平成十四年から省エネ活動を開始しすべての課や公共機関についてエネルギー使用量の目標値を定め、削減に徹底した取組みを行っていた。生ごみ資源化事業所



名取市で議会報告会の説明を受ける

市議会報告会を 開催しました

十一月十八日午後七時から、ふれあい文化センターサンホールにおいて、全議員で初めての市議会報告会を行いました。

報告会では議会の役割やしくみや、議会基本条例の制定の経緯や目的を説明し、各常任委員長が九月定例会の審査結果等を報告しました。

後半には会場にお越しの皆さんと議会に関する意見交換を行い、九州新幹線開通に併せて博多駅周辺を活用して春日市の発展に繋がられないものかとのご意見や、男女共同参画推進への取り組みについてのご質問をいただきました。

皆さんからの貴重なご意見等は、今後の議会活動に活用させていただきます。

今回は、六十七名の方に参加していただき、アンケートでは「専門用語が多い」「活発な討論が見られなかった」「PR不足で参加者が少ない」など厳しいご意見もありましたが、約八割の方から「また参加したい」との感想をいただきました。

今回は、皆さんのご意見を参考に、議会をもっと身近に感じただけのような、充実した報告会を行います。

より多くの方のご参加をお待ちしております。

春日市議会

